

天然 **鉄** による湛水直播栽培用コーティング資材

楽々コート りもみん

【パウダータイプ使用方法】

- ①天然酸化鉄で発熱なし
コーティング作業後は自然乾燥で作業完了！種粕の死滅がない！
- ②コーティング後の種粕は保存が可能で農閑期を有効活用できる
- ③コーティング後の浸種・催芽が可能
- ④鳥害が少ない
- ⑤天然ミネラル阿蘇リモナイトで土壌の活性化

準備するもの



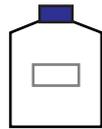
資材



種粕
(消毒済)



りもみん
パウダー



りもみん
コーティング液

種粕(乾燥)：リモナイト：コート液
2 1 0.35
(※重量比目安)

例) 種粕 20kg
パウダー 10kg (1袋)
コート液 3.5kg (1パック)

種粕の浸種について

作業に合わせてコーティング【前/後】の浸種が可能です **point!**

- ※ コーティング後に浸種しても崩れることはありません
- ※ 浸種なしでもコーティングできますが、発芽に時間がかかります

前浸種の場合

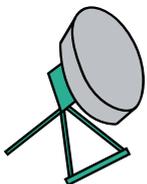
温度の目安：積算 40℃～60℃(15～20℃で3～4日間)
浸種後は脱水しそのままコーティング、もしくは乾燥・保管後コーティングも可能です

後浸種の場合

温度の目安：積算 60℃～80℃(15～20℃で3～5日間) 鳩胸までに留める、芽の出しすぎ注意
浸種後は陰干しして乾燥させた後、保管または播種してください

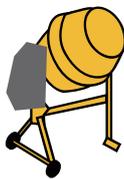


機械および用具



鉄コーティング用マシン

または



コンクリートミキサー



噴霧器



保存用ネット



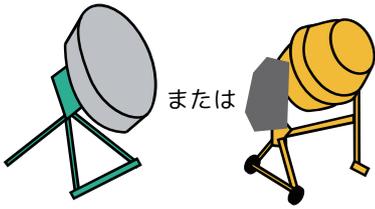
ゴム手袋



マスク

コーティング作業手順

■ コーティングマシンまたはコンクリートミキサーを用い、以下の手順で作業を行います



または

コーティングマシン	10 kg
ミキサー	50 L
	150 L
	8 kg
	20 kg

種籾投入量の目安



- ① 機械に規定量の種籾とリモナイトを入れ、回転させてなじませる
※リモナイトが飛散するので、落ち着くまでラップなどで蓋をすると作業しやすくなります
- ② 機械の側面に付かないよう、コーティング液を回転する種籾に向けて噴霧器でまんべんなく噴霧する
※コンクリートミキサーの場合、奥側を目がけるのがコツです
- ③ 液がなくなった後もしばらく(1～2分程度)回転を続け、作業終了
- ④ ネットなどに保管し、しっかり乾燥させます
※ 2粒以上の塊がある場合はふるいにかけて保存してください
※ コーティング済の種籾は冷暗所で長期保管が可能です **point!**



コーティングマシン



ミキサー

作業動画はこちら

※ 作業時、作業後の発熱は一切ありません **point!**

※ リモナイトは飛散しやすいため、手袋・マスクを装着し、汚れてもいい服装で作業を行ってください

※ 前浸種を行い、湿った種籾をコーティングする場合はコーティング液量を少なめに調整して下さい

※ コーティングマシンの場合はヘラなどで均しながら液を噴霧して下さい

※ 途中ダマができた場合は液の投入を止め、ヘラなどでダマを潰してください

※ コート液は固まりやすいため、作業後は早めに噴霧器(特に噴射口)を水で洗浄して下さい

播種～播種後の注意点

■ 圃場は均平化し、播種した際に種子が半分埋まる程度の状態にしてください

田面が柔らかすぎると種子が土中に潜り発芽や苗立ち不良の原因となり、硬すぎると圃場に種が密着せず倒伏・流れの原因となります

■ 表面播種を行ってください

■ **直播用播種機** **ドローン** **ラジコンヘリ** いずれの機械にも対応可能です

■ 発芽・苗立ちを早めるためにはコーティング後の浸種が有効です

■ 雑草の繁茂を防ぐため適切な除草剤の散布を行ってください